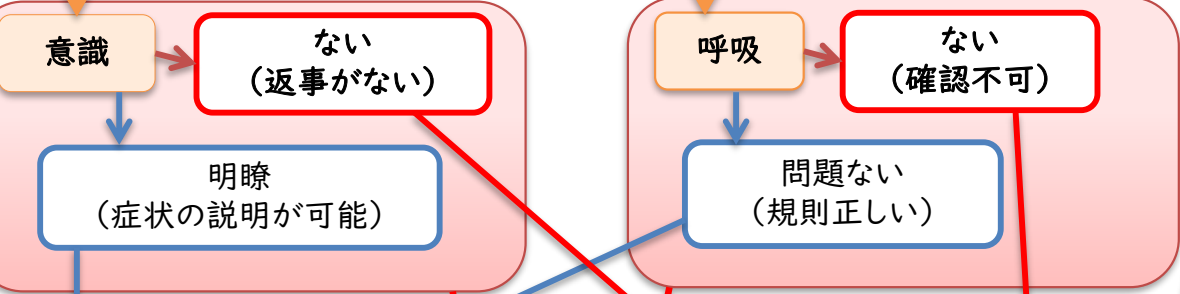
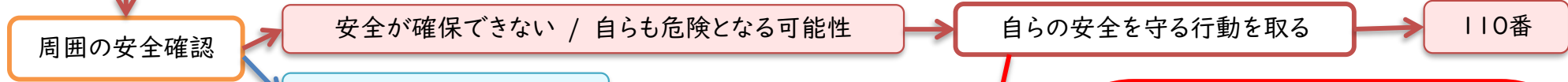


大学構内での体調不良者・傷病者発生時の対応



鳥取大学救急対応フローチャート



- 症状・状態が
- 歩けない
 - 持続するめまい
 - 骨折
 - 眼の怪我、異物や化学薬品の混入
 - 持続又は繰り返す胸部不快感や胸痛
 - 短期間に繰り返す腹痛・嘔吐・下痢など

よくわからない
または
判断出来ない

直ちに
医療機関を受診

状況に応じ、
保健管理センターに
応援を依頼

いずれにも該当しない
かつ 歩ける

保健管理センターに来所して下さい

119番: 学内電話からの発信は、0119
保健管理センター:
鳥取地区: 0857-31-5065
米子地区: 0859-38-6495

119番

周囲の人に協力を求める
AEDを準備・使用

119番に通報をすると、

- まず、“火事ですか？救急ですか？”と問われます。“救急です”と伝えましょう。
- 以下、指令員(救急隊員)が必要な事を順番に尋ねます。落ち着いて、解る範囲で正確に情報を伝えましょう。
- 救急隊到着までは、指示に従いましょう。
- その場で、救急隊到着を待ちましょう。
- 可能な範囲で、安静安楽な姿勢を保てるよう努めましょう。
- 必要に応じ、タオルケット・保温シート等を使用しましょう。
- 状況に応じ、119番通報後、保健管理センターに連絡してください。医師・看護師が救急隊到着まで可能な範囲の手当・観察を行います。

以下を必ず伝えてください(①③は、解る範囲で)

- 氏名・性別、学生番号(職員の場合は所属部署)
- 場所
- 症状/状態、経過

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気の可能性がります。

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- るれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てない
- ぐらぐらと揺れる

胸や背中

- 突然の激しい胸痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2〜3分続く
- 痛み場所が移動する

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

いずれかに該当
消防庁HPより引用

鳥取地区では、警備員室(0857-31-6757)に、救急車を要請したこと、発生場所を連絡してください。

車いす・担架の使用について

- ・車いす
意識が明瞭で、傷病者の了解が得られた場合にのみ、短距離の移動に限って使用。
- ・担架
使用しないでください。

いずれも、使用により、病状悪化の危険があります。